

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の5第5項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年11月18日

【中間会計期間】 第103期中（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

【会社名】 東洋証券株式会社

【英訳名】 TOYO SECURITIES CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小川 憲 洋

【本店の所在の場所】 東京都中央区八丁堀4丁目7番1号

【電話番号】 03(5117)1040(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 上野 基 聖

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八丁堀4丁目7番1号

【電話番号】 03(5117)1040(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 上野 基 聖

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
松戸五香支店
(千葉県松戸市常盤平5丁目18番1号)
横浜支店
(神奈川県横浜市中区本町2丁目22番地)
名古屋支店
(愛知県名古屋市東区武平町5丁目1番地)
大阪支店
(大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号)
広島支店
(広島県広島市中区基町13番9号)
山口支店
(山口県山口市中市町1番10号)

1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年11月13日に提出いたしました第103期中（自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日）半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

3【業務の状況】

(3) 自己資本規制比率

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

(3) 自己資本規制比率

【訂正前】

区分		前中間会計期間 (2023年 9月30日)	当中間会計期間 (2024年 9月30日)
基本的項目(百万円) (A)		31,638	33,321
補完的項目	その他有価証券評価差額金 (評価益)等(百万円)	4,084	4,422
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	72	86
	一般貸倒引当金(百万円)	2	3
	計(百万円) (B)	4,159	4,512
控除資産(百万円) (C)		9,515	10,007
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (百万円) (D)		26,282	27,826
リスク相当額	市場リスク相当額(百万円)	1,265	1,314
	取引先リスク相当額(百万円)	443	454
	基礎的リスク相当額(百万円)	2,425	2,618
	計(百万円) (E)	4,133	4,387
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		635.8	634.2

(注) 市場リスク相当額の月末平均額は前中間会計期間1,190百万円、当中間会計期間1,479百万円、月末最大額は前中間会計期間1,265百万円、当中間会計期間1,576百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は前中間会計期間439百万円、当中間会計期間531百万円、月末最大額は前中間会計期間471百万円、当中間会計期間599百万円でありませ

【訂正後】

区分		前中間会計期間 (2023年9月30日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
基本的項目(百万円) (A)		31,638	33,321
補完的項目	その他有価証券評価差額金 (評価益)等(百万円)	4,084	4,422
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	72	86
	一般貸倒引当金(百万円)	2	3
	計(百万円) (B)	4,159	4,512
控除資産(百万円) (C)		9,515	10,007
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (百万円) (D)		26,282	27,826
リスク相当額	市場リスク相当額(百万円)	1,265	1,279
	取引先リスク相当額(百万円)	443	454
	基礎的リスク相当額(百万円)	2,425	2,618
	計(百万円) (E)	4,133	4,352
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		635.8	639.3

(注) 市場リスク相当額の月末平均額は前中間会計期間1,190百万円、当中間会計期間1,451百万円、月末最大額は前中間会計期間1,265百万円、当中間会計期間1,541百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は前中間会計期間439百万円、当中間会計期間531百万円、月末最大額は前中間会計期間471百万円、当中間会計期間601百万円でありませす。